



■発行/櫻井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28  
 ■電話/自宅 0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881 ■携帯 080-3150-8451  
 ■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail [sakurai@sakurai.click](mailto:sakurai@sakurai.click)  
 ■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3> 討議資料

今年も残すところ僅かとなってまいりました。皆様には大変お世話様になりありがとうございました。今年の秋は、度重なる台風襲来により日本各地で大きな被害が発生しました。亡くなられた方のご冥福を祈るとともに、被害にあわれた方々の一日も早い復旧を願うものです。

3か月に1度発行する活動報告ですが、紙面の都合もあり詳細を記載できない案件そして報告できない案件もあります。年末年始に地区あるいは同好会の会合等で「話を聞きたい。報告してほしい」といった要望がございましたら遠慮なくご連絡ください。来年もご指導ご鞭撻、宜しくお願い申し上げます。

## 一、地域医療対策について

### (1) 石岡市における医療環境の現実

#### (1) 石岡市医師会病院の存続に黄色信号

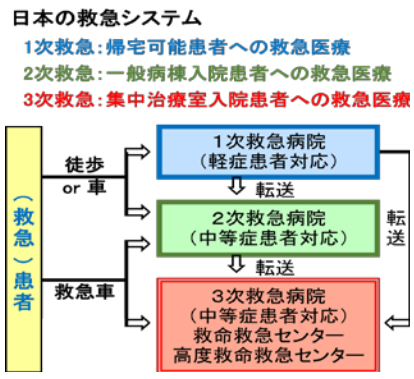
石岡市は土浦保健医療圏に位置し、分娩可能な産婦人科医院が無くなり、小児科医師も不足気味です。石岡市医師会所属医師の平均年齢は65歳。さらに医師会病院は医師確保に課題を抱え、その存続が厳しいことから、

1次救急環境の確保に加え、医療機関の再編が避けられません。2次救急病院は、石岡市医師会病院、石岡第一病院、山王台病院、石岡循環器科脳神経外科病院です。

#### (2) 救急搬送の状況

石岡市消防の救急搬送先は、土浦協同病院（3次救急病院）が最も多く、次いで山王台病院です。近隣市の消防本部救急搬送も含めると医師会病院の数値は増え、計311件となります。

医師確保は非常に厳しく、医師会病院の役割を代わって担うため、医療機関の再編が至急の課題となっています。



救急搬送の状況 (H29年度石岡市消防本部実績)

搬送先病院	死亡	重症	中等症	軽症等	計	割合
土浦協同病院	14	85	336	439	874	28.0
山王台病院	12	39	181	381	613	19.6
石岡循環器脳神経外科病院	2	37	157	248	444	14.2
茨城県立中央病院	8	30	162	134	334	10.7
石岡第一病院	5	50	121	135	311	9.9
石岡市医師会病院	11	26	105	106	248	7.9
八郷整形外科内科病院		28	19	46	93	3.0
その他	1	31	134	44	210	6.7
合計	53	326	1,215	1,533	3,127	100.0

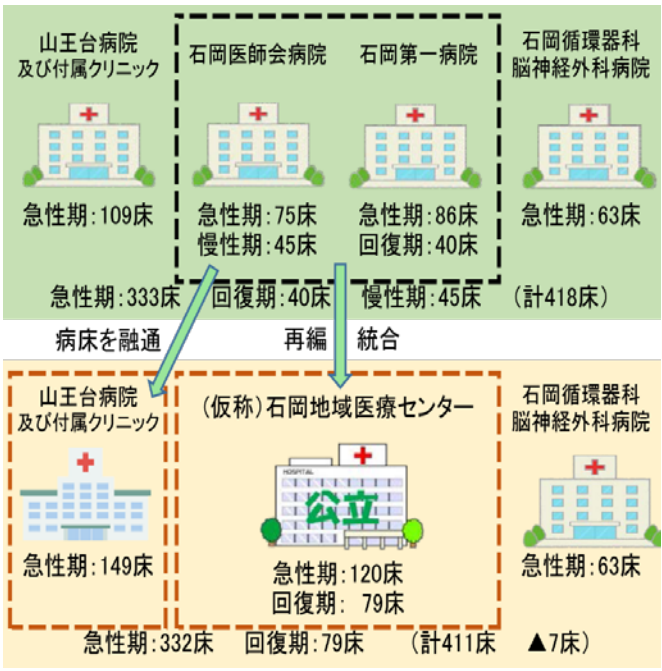
### (2) 専門委員会の設置

石岡市・小美玉市・かすみがうら市は、「地域医療に係る対策を検討する専門委員会」を設置。委員構成は、医師（病院長等7名）、石岡市・小美玉市・かすみがうら市の保健福祉部長（3名）、土浦保健所長、そして医療再生アドバイザーの城西大学教授の合計12名です。

### (3) 協議検討内容（第3回委員会）

一般公開された第3回委員会で、検討の余地を残しながらも左記のような方向性が示されました。

- ① 医師会病院の病床を山王台病院に融通。
- ② 石岡第一病院と医師会病院を統合・公立化し、地域医療センターを設置。
- ③ 管理運営は第一病院の母体である地域医療振興協会に指定管理者制度を活用し依頼。
- ④ 自治医科大学との連携で医師確保を図る。
- ⑤ 統合・公立化は地方交付税措置を活用し財政負担を無くす。
- ⑥ 運営費の赤字補填を行政に求めない等々。現在、実効性を検証しています。



## 四. 協議の場として2委員会設置

第3回定例会最終日(9月12日)に、石岡市議会会議規則の一部を改正する議案を委員会提出議案として可決しました。

地方自治法第100条第12項の規定による「協議の場」に次の2つの会議を位置付けるものです。

### (1) 全員協議会

全員協議会は、議員全員が対象の会議で、議長が招集権者となります。市長の要請により議員全員に急ぎ報告したい案件や、議長が議会内の情報共有に向けて開催する任意の会議で非公開でした。今回、正式な会議として位置づけ、事前審査とならない範囲で質問を認め会議は公開されます。

### (2) 議会広報委員会

議会広報紙の編集及び議会報告会の準備運営を行う議会広報委員会が、会議規則に位置づけされた常任委員会として設置されました。

委員会の活動は、議会報告会開催に向けた議論を中心にされる模様です。議会改革については、議会運営委員会を担当することになります。

## 五. 決算特別委員会

### (1) 平成30年度各会計決算を審査

平成30年度一般会計歳入歳出決算認定ほか特別会計歳入歳出決算認定9議案について審査するため、10月16日から21日の日程で決算特別委員会を開催しました。審査結果は全ての会計決算を認定すべきものとなりました。

提出されていた決算関係資料の「事務事業評価シート」に誤記や空欄が目立ち、審査において委員が「事業の成果報告としての資料価値を損なうのではないか」との指摘し、執行部が謝罪訂正する一幕もありましたが、全体的には質疑も順調に流れ、決算特別委員会を閉会しました。

## 六. 市民会館の閉館

### (1) 耐震不足の中、継続して使用

市民会館大ホールの耐震診断結果は平成26年3月17日の環境経済委員会に「診断結果は耐震補強が必要」と報告されました。しかしその後も耐震度を高める具体的な補強は全く行われず、既に5年以上の月日が流れています。

私はこれまで、耐震不足の市民会館について、新たな整備構想を早急にまとめるべきである旨の質問・提言をしており、これに対して市は「石岡市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の中で示していく。策定は平成31年9月予定」との答弁をしていました。

今年6月に開催された教育福祉環境委員会でも、各議員から大ホールの使用を続けることへの疑問の声が多数出ていました。

### (2) 閉館の判断と個別施設計画案の提出

9月6日に開催された教育福祉環境委員会において、耐震不足に加え市民会館大ホールが特定建築物定期調査報告において特定天井等に既存不適格と判定されていること等を理由として、令和2年4月1日から閉館するとの説明がありました。

今年度については、利用者から既に予約されている状況もあり、使用を認めていくことが報告されています。

併せて、約束の市民会館の個別施設計画案が示されました。



### (3) 市民会館個別施設計画案の内容

市民会館個別施設計画案によれば、令和2年度から令和3年度にかけて基礎調査等の委託と機運の醸成を図り、令和4年度に基本設計及び実施設計、令和5年・6年度の2か年で建設を計画しています。予算規模は、現在の建物面積と同等と想定して18億5千万円弱を見込んでいます。

### (4) 個別施設計画とは何か

人口減少に加え、バブル全盛期に多くの公共施設が建設され、現在はその老朽化に加え維持管理経費が問題となっています。そのため早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点に立つて更新・統廃合・長寿命化を計画的に進めるために公共施設等総合管理計画の策定を国から求められていました。

この総合管理計画の下にあるのが、個々の施設別に定める個別施設計画となり、財政支援措置が用意されています。

### (5) 国の財政支援措置を活用するには

公共施設等適正管理推進事業債の名称で、要件に適合すれば、事業費の9割を金融機関から借り入れることが可能となり、その返済額の3割から5割を地方交付税で財政支援するというものです。要件は①集約化・複合化事業、②長寿命化事業、③転用事業、④立地適正化事業、⑤ユニバーサルデザイン化事業、⑥市町村役場機能緊急保全事業の6項目に分かれ令和3年度までの制度です。単なる建て替えの場合には、国からの財政支援はありませんので、必然的に、①の施設の集約化あるいは複合化が求められ、令和2年度までに実施設計に着手しなければなりません。

課題は山積ですが、凍結されているイベント広場への複合文化施設建設計画を基本に、早急に検討が進むことを期待したいと思います。



## 二、第3回定例会で行った一般質問

### (1) 歯と口腔の健康づくりについて

石岡市歯と口腔の健康づくり推進条例が施行され、3年余が経過します。歯と口腔の健康が健康寿命に影響を与えることが指摘される中、むし歯の発生が最も多い幼児、児童生徒の歯と口腔の健康づくりをどのように進めていくのか伺います。

#### (1) 条例制定後の取り組みと効果について

**保健福祉部長答弁要旨** まちづくり出前講座に「歯の健康づくり」講座を追加、成人検診時に歯科相談・指導を追加、妊婦歯科検診費用の助成、希望する幼児への歯磨き指導及びフッ化物塗布などを実施している。協力関係団体との情報交換を行い効果的な瀬策展開を図っていきたい。

**再質問** 平成29年第2回定例会で中学校の昼食後の歯磨きを質問し、1校のみ実施との答弁を受けしたが、その後の取り組み状況を伺う。

**教育部長答弁要旨** 昼食後の歯磨きは、小学校は全校が実施。中学校は1校が実施で、他の4校は自主的な取り組みとなっている。小中連携を強化して小学校で習慣化したものを中学校でも継続して取り組めるよう指導したい。

#### (2) むし歯有病率の現状について

**保健福祉部長答弁要旨** むし歯の有病率は、全国平均と比べ、1歳6か月児は上回り、3歳児は下回っている。12歳児は約半数がむし歯罹患者となっている。

**再質問** 歯の健康は歯磨き習慣や家庭環境、食事などにより左右されます。12歳児の約半数にむし歯があるとの答弁ですが、県や国の数値を伺う。

**保健福祉部長答弁要旨** むし歯の有病率は、経年的には減少傾向ですが、平成29年度の数値では国が34.9%、県が38.5%、石岡市は45.1%で、県より石岡市は高い数値となっている。

### (3) フッ化物洗口の取り組みについて

**教育部長答弁要旨** 小中学校におけるフッ化物洗口は他自治体の先進事例調査にとどまっている。

**再質問** 新潟県は、12歳児の平均むし歯数最小を19年連続で続けている。その要因の一つは昭和56年から続けている小中学校でのフッ化物洗口です。フッ化物洗口に対する国・県の考えを伺います。

**教育部長答弁要旨** 厚生労働省では、フッ化物洗口の有用性と安全性は多くの研究で示されており、8020の可能性を高め、口腔保健の向上に寄与するとしています。県は、健康茨城21プランで安全な虫歯予防法として推進するとしています。

**再質問** フッ化物洗口が行われてから40年以上が経過しているが、健康被害の報告はありませんか。

**教育部長答弁要旨** フッ化物洗口については、一部の団体で安全性を心配する声があるが、健康被害の報告は今のところ無い。

**再質問** 新潟県で学校長をしている友人に確認したところ、フッ化物洗口は子供達も教員も負担感はない。とのこと。是非とも小中学校で取り入れていただきたいと思いますが見解を伺います。

**教育部長答弁要旨** まずは歯磨きの小中学校連携を強化し、全校で実現できるよう指導したい。フッ化物洗口については、保護者や教員に有効性や安全性に加え注意すべき事項を十分説明し同意を得て行うようにされていますので調査研究を進める。市長答弁要旨 市民が、健康で生活できることは大切なことであり、将来を担う子供達の健康を守るため導入にあたっては十分調査の上、最善の選択をしていきたい。

※フッ化物洗口は永久歯のむし歯予防を目的に、一定濃度のフッ化ナトリウムを含む溶液で1分間ぶくぶくがいをする方法。  
就学前からの実施で高い予防効果を得ることができ、一部にフッ化物を毒であるとして、反対する団体等がある。

## 三、第3回定例会で行った議案質疑

### (1) 石岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を制定することについて

(1) 条例制定の理由と目的を伺います。

**総務部長答弁要旨** 臨時・非常勤職員の適正な任用を行う地方公務員制度の見直しに伴い、地方公務員法が改正された。内容は、①労働者性のある職種については会計年度任用職員に移行させ任用の厳格化を図る。②会計年度任用職員の採用方法や勤務条件に関する規定を設けた。③期末手当の支給を行うことにした。これにより当市も令和2年度より会計年度任用職員に移行する考えです。

(2) 非常勤職員の雇用形態と人数を伺います。  
**総務部長答弁要旨** 地方公務員法第22条第5項の臨時職員が71人、地方公務員法第3条第3号の嘱託職員等が386人。

(3) 再任用条例及び臨時・非常勤職員の雇用に関する規定の改廃を予定しているのか伺います。

**総務部長答弁要旨** 再任用条例の変更は無い。臨時職員雇用管理規定及び嘱託職員の任用に関する規定の廃止、臨時職員や嘱託職員等に関する条例の改正を12月定例会に上程予定。

#### 提言 本来、関係条例案

として一括で提案されるべきである。関係規定の提案で、より詳細な質疑ができただけであり、それが議会への対応である。

#### (4) 予算への影響について伺います。

**総務部長答弁要旨** 週15.5時間以上勤務する任用職員に対して期末手当を年間2000万円分支給予定。期末手当の影響額は1億1千万円ほど。その他、昇給による増加と再任用時のプラスで約2千2百万円の影響が出ると考えている。



## 七. 議員の暴行事件が明らかに

### (1) 組合事務所へ押しかけて職員に暴力

10月16日夕刻、湖北環境衛生組合（石岡市・小美玉市・かすみがうら市・土浦市で構成する、し尿処理組合）事務所において、石岡市議会から選出の組合議員であるT女史議員が、スリッパで職員を叩くという暴行事件が発生。現場には、同組合議員のT議員も同席していました。

### (2) 何が暴力に走らせたのか

事の発端は、10月10日開催の湖北環境衛生組合議会にT女史議員及びT議員の2名が議案質疑を通告。T女史議員が職員から事前に聞かされたとする議案質疑の順番が、2番ではなく1番だったことに納得できなかったようです。

T女史議員とT議員が組合事務所を訪れ、これに対して組合事務局長と被害者となる職員が対応。T女史議員が職員に、「順番は2番と言ったよね」と追及し、これに対して職員は「言った覚えがない」と返答。すると議員は「嘘つき」と職員の人格までも否定し、T議員も加勢して口論となり、結果、職員の態度が無礼だとして、T女史議員が暴力をふるったと伝わってきました。

### (3) 暴力行為を議員は否認

「言葉」を活動の基礎とする議員が暴力を振ったという事実。そして、暴行を否認している事も伝わっています。事の発端が「質疑の順番」と聞き、理由があまりに軽いので驚きました。被害職員は音声を録音していたようですので、いずれ詳細が明らかになると思います。

かつてT女史議員は、石岡市政治倫理条例案の提案者となっています。市長や議員等の他者には、より厳しい倫理観を求めており、否認している自らの暴力行為が立証された場合、どのような責任を取るのか注目したいと思います。

## 八. 度重なる台風上陸

### (1) 甚大な被害が多数発生

台風15号そして台風19号が立て続けに関東地方に上陸。いずれも茨城県内を縦断し大きな被害をもたらしました。台風15号は、強風による倒木、台風19号は大雨により河川が氾濫。広範囲に甚大な被害を引き起し、多くの方が亡くなりました。

### 台風による石岡市内の被害(概数)

項目	台風15号	台風19号
上陸日	9月5日	10月12日
上陸場所	千葉市	伊豆半島
中心気圧	960hpa	915 hpa
最大風速	45m	55m
警戒レベル	レベル4 避難勧告	レベル4 避難指示
避難者	37名	562名
停電	4300軒	2450軒
道路冠水	5件	7件
倒木	58件	31件
通行止め	3件	12件
河川氾濫		光安寺橋 付近越水
断水	上曽地区	

### (2) 今後への備え

石岡市内の被害状況を見ると、停電被害が多数出ています。停電になった場合の非常灯や非常食、飲料水等の事前準備を心がけたいものです。今回、石岡市が避難勧告そして避難指示を発表した際、テレビ放送でも字幕に情報が流れた影響なのか、私の所へも「どこに避難したらいいか」といった問い合わせが数件ありました。避難所は事前に公表されていますので、避難する場所を家族で事前に決めておくこと。さらには、自宅が避難対象区域内にあるのか。そして暴風雨の中を安全に避難できるのか等を考慮した上で、避難の判断をしたいものです。

## 九. 盆栽菊友会

### 盆栽菊友会

盆裁菊友会の方から「素晴らしい作品が沢山あるので、市役所ロビーへの作品展示に協力してください」と連絡が入りました。

ふれあいの里に展示されている作品を拝見し、多くの方に楽しんでいただければと市担当者にお願したところ幸運にも展示が可能となりました。こうしたお手伝いは大歓迎ですので、遠慮なくご連絡ください。

## 十. 令和元年第4回定例会

令和元年第4回定例会は11月26日告示、12月3日開会です。どうぞ議会傍聴においでください。

### 令和元年第4回定例会日程

月日	曜	会議内容
12月3日	火	開会
4日~8日		休会
12月9日	月	一般質問
12月10日	火	一般質問
12月11日	水	一般質問
12月12日	木	議案質疑
12月13日	金	教育福祉環境委員会
14日・15日		休会
12月16日	月	総務委員会
12月17日	火	経済建設消防委員会
12月18日	水	議会運営委員会
12月19日	木	採決・閉会

